

北九州市地球温暖化対策実行計画 進行管理指標

進行管理指標は、削減目標の設定に当たって前提となった条件を中心に、効果的な進行管理を行うための参考指標として定めたものであり、温室効果ガス排出量の状況や各施策の取組み状況とともに、同指標値の推移を把握して、総合的な評価・検証を行うもの。
なお、算定基礎としている各種統計データの遡及修正、使用するデータの変更等により、過年度の値が変更される場合がある。

1

進行管理指標について

1は2022年度温室効果ガス排出量算定に活用した主な指標、2～8は入手可能な最新年度の主な指標を掲載

1 全体に関わるもの

- 1-1 CO₂総排出量、部門別CO₂排出量
- 1-2 エネルギー消費量、部門別エネルギー消費量
- 1-3 部門別の活動量（世帯数、製造品出荷額等）
- 1-4 部門別の活動量当たりCO₂、エネルギー消費量
- 1-5 電源構成、電力の排出係数（電気事業者）

2 家庭部門・業務部門

- 2-1 LEDの普及率
- 2-2 高効率給湯器の普及台数
- 2-3 二重サッシ、複層ガラスの普及率（家庭）
- 2-4 省エネ建築物の普及率
- 2-5 「CASBEE北九州」届出数（業務）
- 2-6 ZEH、ZEBの普及率
- 2-7 電化率（エネルギー消費量に占める電力の割合）

3 運輸部門

- 3-1 次世代自動車（HV,PHV,EV,FCV）の普及台数
- 3-2 充電設備、水素ステーションの普及状況
- 3-3 人口10万人/日あたりの公共交通利用者数
- 3-4 ノーマイカーデー、エコドライブ参加企業数

4 産業部門・エネルギー部門

- 4-1 再エネ（太陽光、風力等）の導入量
- 4-2 省エネ対策の取組み状況、取組み事例
- 4-3 電化率（エネルギー消費量に占める電力の割合）

5 その他の部門（廃棄物）

- 5-1 プラスチックごみの分別協力率、焼却量
- 5-2 食品ロス量

6 森林等による吸収

- 6-1 植樹本数
- 6-2 森林面積

7 環境活動・環境教育

- 7-1 エコライフステージ参加者数、出展数
- 7-2 環境学習施設利用者数
- 7-3 環境首都検定受検者数

8 国際貢献

- 8-1 脱炭素化プロジェクト実施件数（累計）
- 8-2 戦略的環境国際協力の実施件数（累計）
- 8-3 研修員の受入れ数（延べ数）

1 全体に関わるもの

1-1 CO₂総排出量、部門別CO₂排出量

万トン・CO₂



区分	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年度比	2013年度比
家庭部門	151	142	121	111	111	79	75	88	79	103	+29.6%	▲31.9%
業務部門	200	197	189	154	143	128	134	131	120	135	+12.5%	▲32.5%
運輸部門	197	192	170	170	168	168	166	161	152	154	+1.1%	▲21.7%
産業部門	1,166	1,171	1,202	1,004	1,007	980	949	788	809	808	▲0.1%	▲30.7%
その他※	236	240	231	236	226	223	221	216	221	211	▲4.4%	▲10.6%

※エネルギー転換部門、廃棄物の原燃料使用等、工業プロセス、廃棄物、メタン、一酸化二窒素、フロンガス等の合計

3

1 全体に関わるもの

1-2 エネルギー消費量、部門別エネルギー消費量

TJ



区分	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年度比	2013年度比
家庭部門	11,490	11,537	10,947	10,422	11,096	10,332	9,248	10,233	10,755	10,710	▲0.4%	▲6.8%
業務部門	16,923	17,185	18,789	15,345	15,006	16,521	16,514	15,367	16,020	14,737	▲8.0%	▲12.9%
運輸部門	28,560	27,876	24,590	24,540	24,300	24,408	24,137	23,468	22,155	22,264	+0.5%	▲22.0%
産業部門	120,450	122,942	130,674	110,904	112,192	115,514	110,141	92,190	98,139	92,912	▲5.3%	▲22.9%
エネルギー転換部門	6,472	6,650	5,852	6,360	6,174	4,914	5,166	4,938	5,038	4,834	▲4.1%	▲25.3%
廃棄物の原燃料使用等	1,611	1,599	2,216	2,171	1,332	1,643	1,727	1,886	1,925	1,693	▲12.1%	+5.0%

4

1 全体に関わるもの

1-3 部門別の活動量

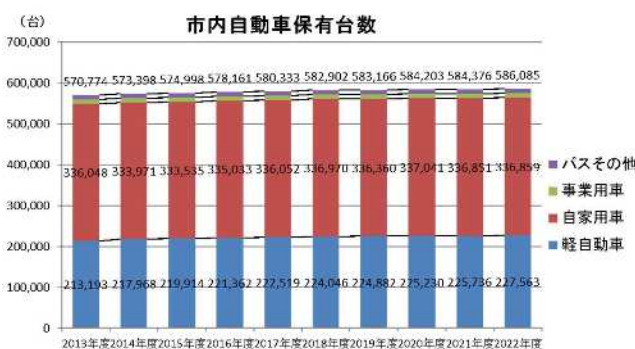
家庭部門（人口・世帯数）



業務部門（業務用延床面積）

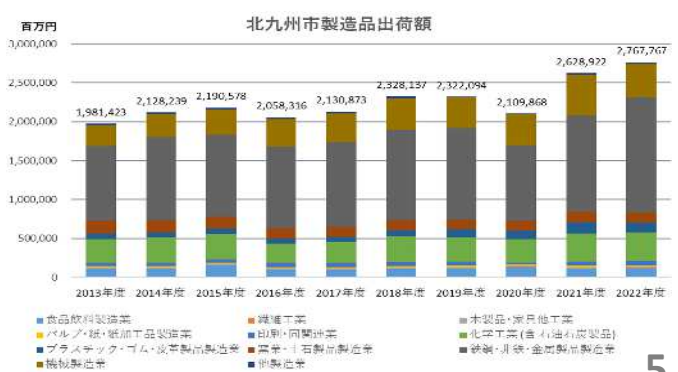


運輸部門（自動車保有台数）



※特殊車、二輪車等を除く

産業部門（製造品出荷額等）

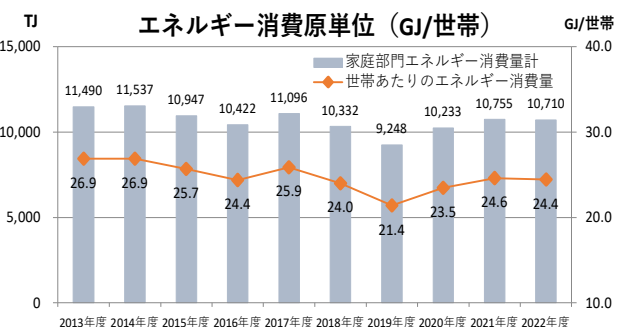
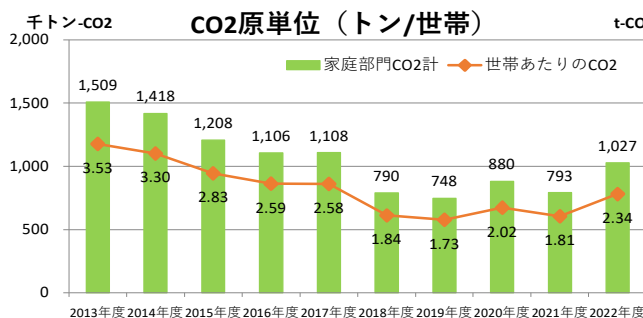


5

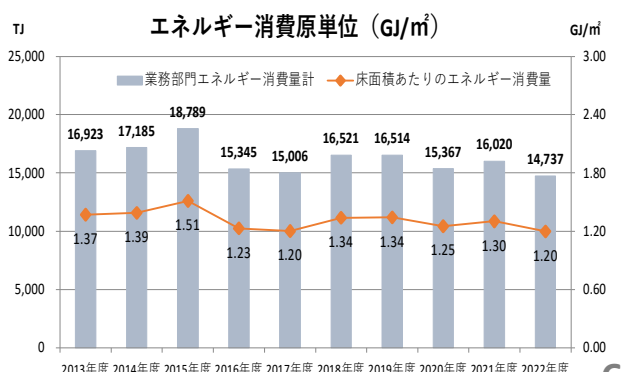
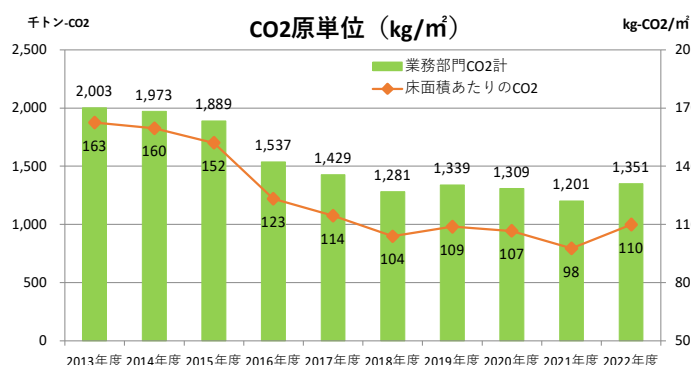
1 全体に関わるもの

1-4 部門別の活動量あたりCO₂、エネルギー消費量

家庭部門



業務部門

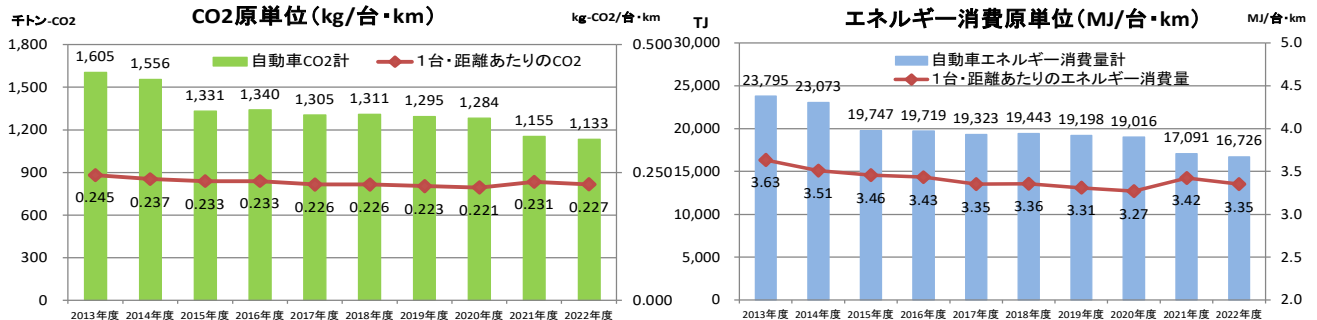


6

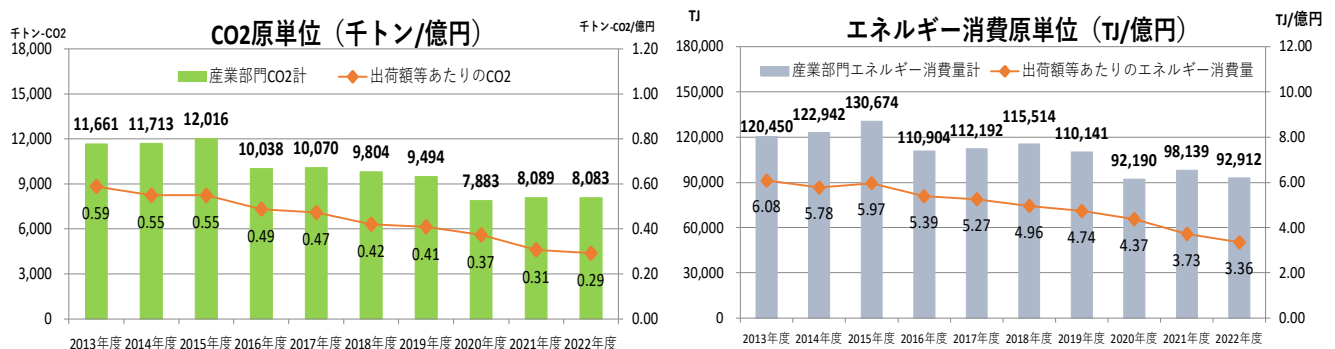
1 全体に関わるもの

1-4 部門別の活動量あたりCO₂、エネルギー消費量

運輸部門



産業部門

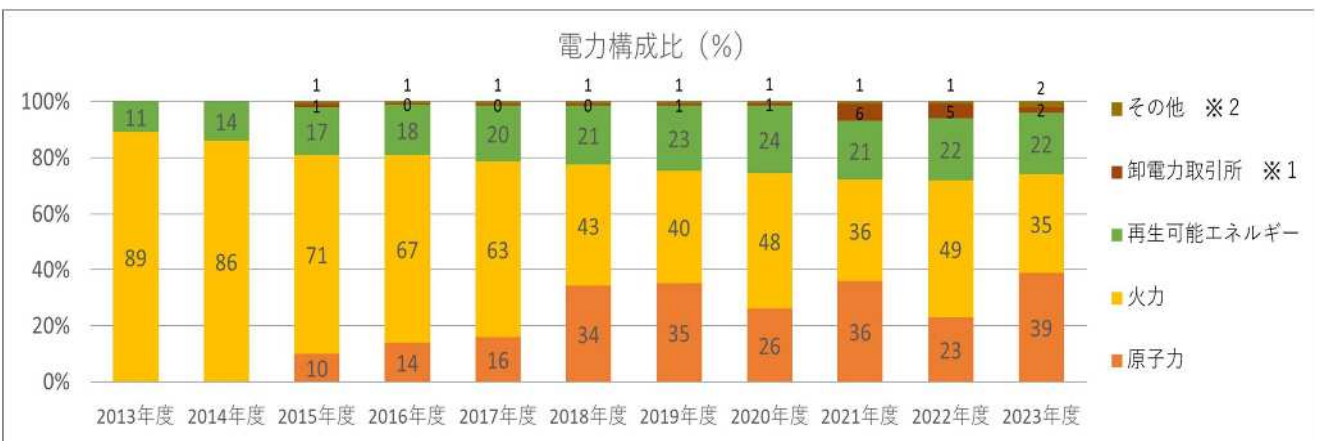


7

1 全体に関わるもの

1-5 電源構成、電力の排出係数（電気事業者）

九州電力の電源構成の推移



※1 卸電力取引所から調達した電気：この電気には、水力、火力、原子力、FIT電気、再生可能エネルギーなどが含まれる
 ※2 他社から調達している電気で発電所が特定できないものなどが含まれる

出典：九州電力資料より作成

九州電力のCO₂排出係数

単位：kg-CO₂/kWh

	2013年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
電力のCO ₂ 排出係数	0.613	0.462	0.438	0.319	0.344	0.365	0.296	0.407	0.253

出典：九州電力HPより

8

2 家庭部門・業務部門

2-1 LEDの普及率（家庭）【九州地域】

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
普及率	18%	20%	24%	26%	—

<出典>

環境省 家庭部門のCO₂排出実態統計調査（家庭CO₂統計）九州地域

2-1 LEDの普及率（業務）【全国】

LED化率 (ストック)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
非住宅(屋内)	44%	48%	53%	58%	62%

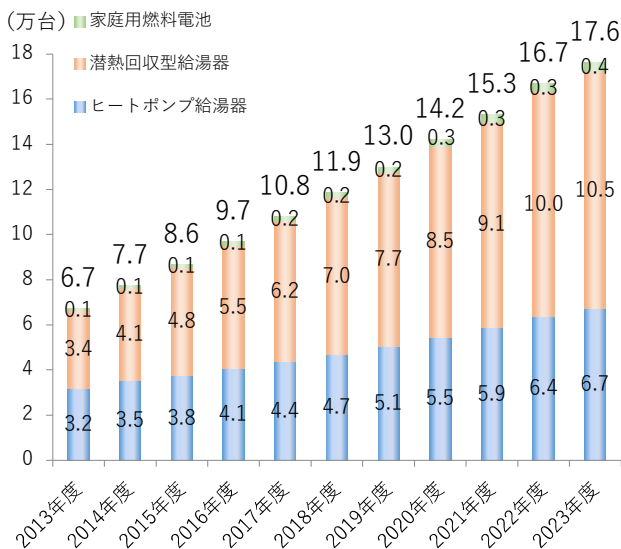
<出典>

一般社団法人日本照明工業会資料

9

2 家庭部門・業務部門

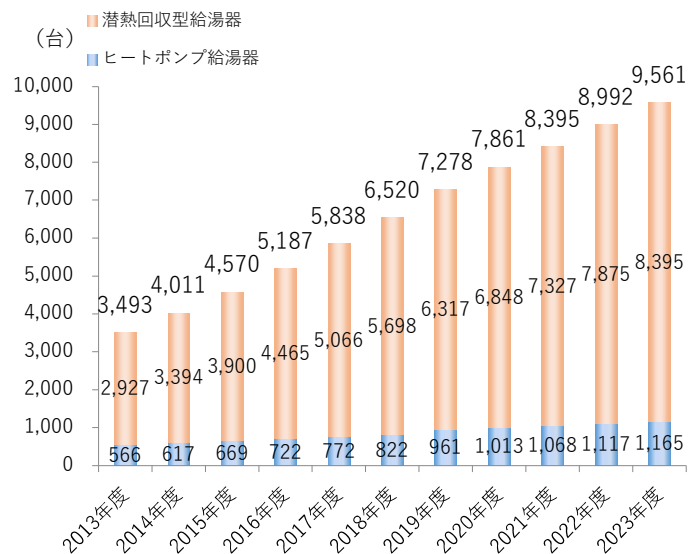
2-2 高効率給湯器の普及台数（家庭）



<出典>

環境省 2023年度における地球温暖化対策計画の進捗状況より本市にて推計（全国の累積導入台数を世帯数で按分）

2-2 高効率給湯器の普及台数（業務）



<出典>

環境省 2023年度における地球温暖化対策計画の進捗状況より本市にて推計（全国の累積導入台数を延べ床面積で按分）

10

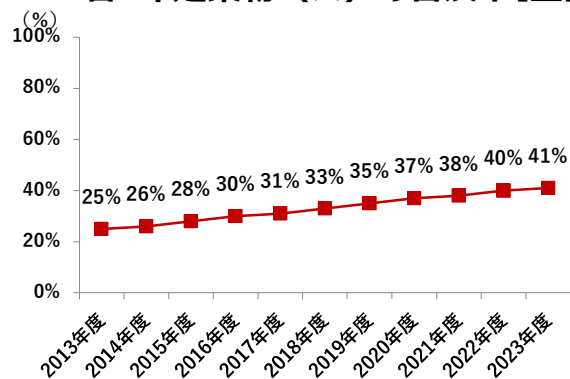
2 家庭部門・業務部門

2-3 二重サッシ・複層ガラスの普及率

	2013年度	2018年度
普及率	5.6%	7.3%

<出典>北九州市統計年鑑より推計

2-4 省エネ建築物（※）の普及率【全国】

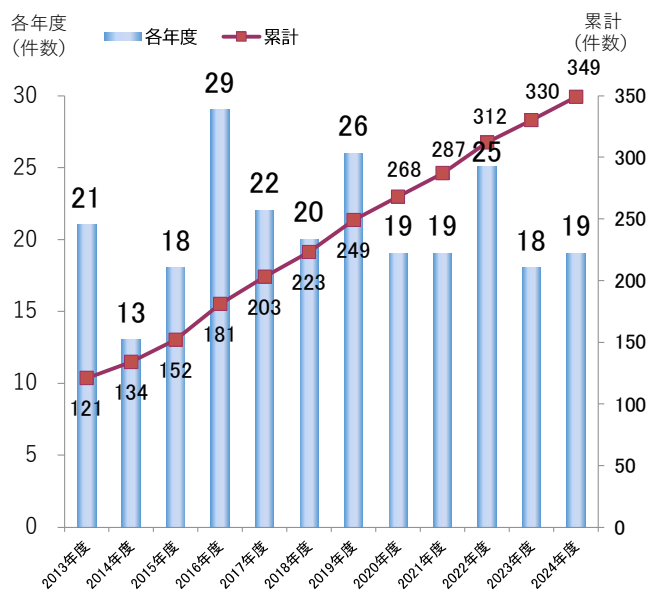


<出典>

環境省 2023年度における地球温暖化対策計画の進捗状況

※省エネ基準に適合する建築物のこと

2-5 北九州市建築物総合環境性能評価制度(CASBEE)届出数



11

2 家庭部門・業務部門

2-6 ZEHの普及率【福岡県】

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
普及率	20.0%	20.4%	21.6%	27.4%

<出典>

一般社団法人環境共創イニシアチブ公表データより本市にて推計（値は福岡県）

2-6 ZEBの普及率【全国】

中大規模の新築建築物のうち ZEB 基準の水準の省エネ性能（※）に適合する建築物	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
実績値	29%	35%	32%	35%	39%

<出典>

環境省 2023年度における地球温暖化対策計画の進捗状況

※：再生可能エネルギーを除いた一次エネルギー消費量を現行の省エネルギー基準値から用途に応じて次の通り削減。
ホテル、病院、百貨店、飲食店、集会所等：30%削減 事務所、学校、工場等：40%削減

12

2 家庭部門・業務部門

2-7 電化率（家庭部門）



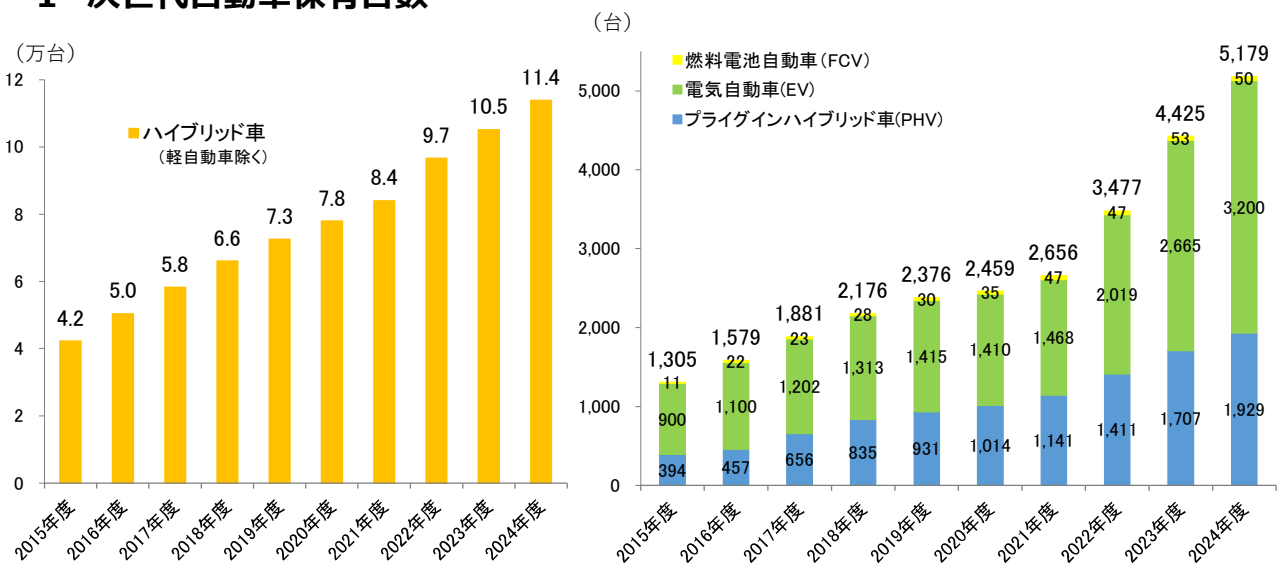
2-7 電化率（業務部門）



13

3 運輸部門

3-1 次世代自動車保有台数



<出典>

2015～2021年度については、九州運輸局提供データ、自動車検査登録情報協会提供データ、軽自動車検査協会提供データ及び市データを元に本市にて推計

2022年度については、本市及び九州運輸局提供データに基づき、使用の本拠が本市にあるものを集計

2023年度以降については、本市及び自動車検査登録情報協会提供データに基づき、使用の本拠が本市にあるものを集計

14

3 運輸部門

3-2 充電設備設置数

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
設置数	121箇所	120箇所	118箇所	127箇所	153箇所

<出典>2020～2022年度については、CHAdeMO協議会提供データ及び市データを元に計上
2023年度以降については、GoGoEV掲載データを元に計上

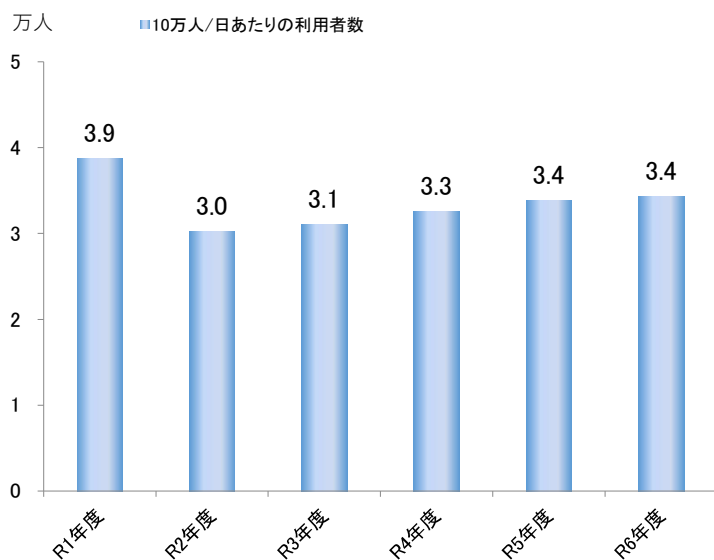
3-2 水素ステーション設置数

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
設置数	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	1箇所

15

3 運輸部門

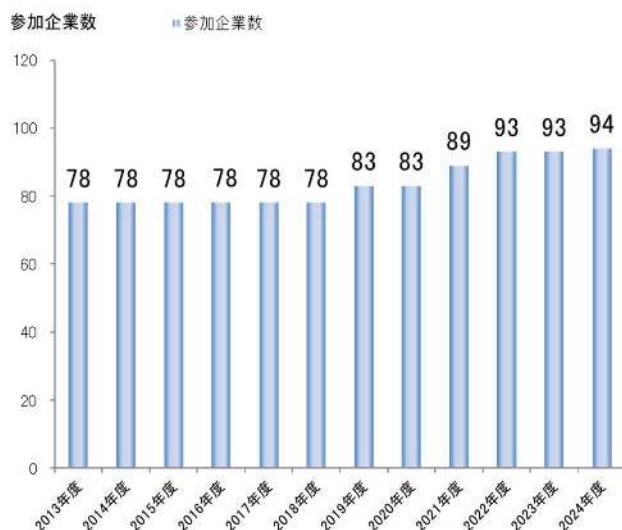
3-3 人口10万人/日あたりの公共交通利用者数



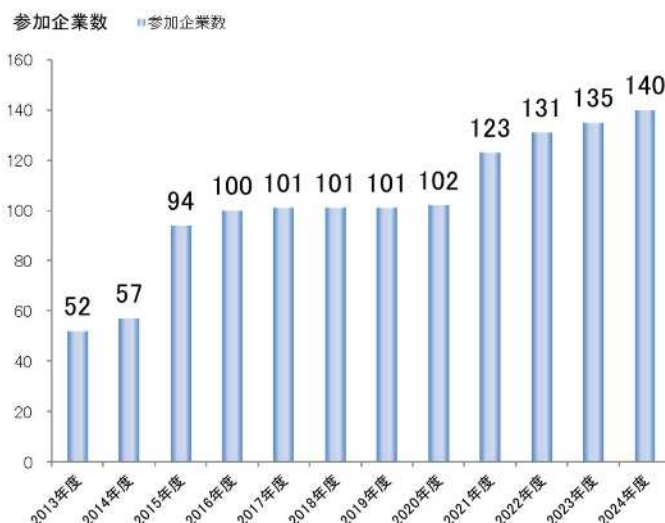
16

3 運輸部門

3-4 ノーマイカーデー参加企業数



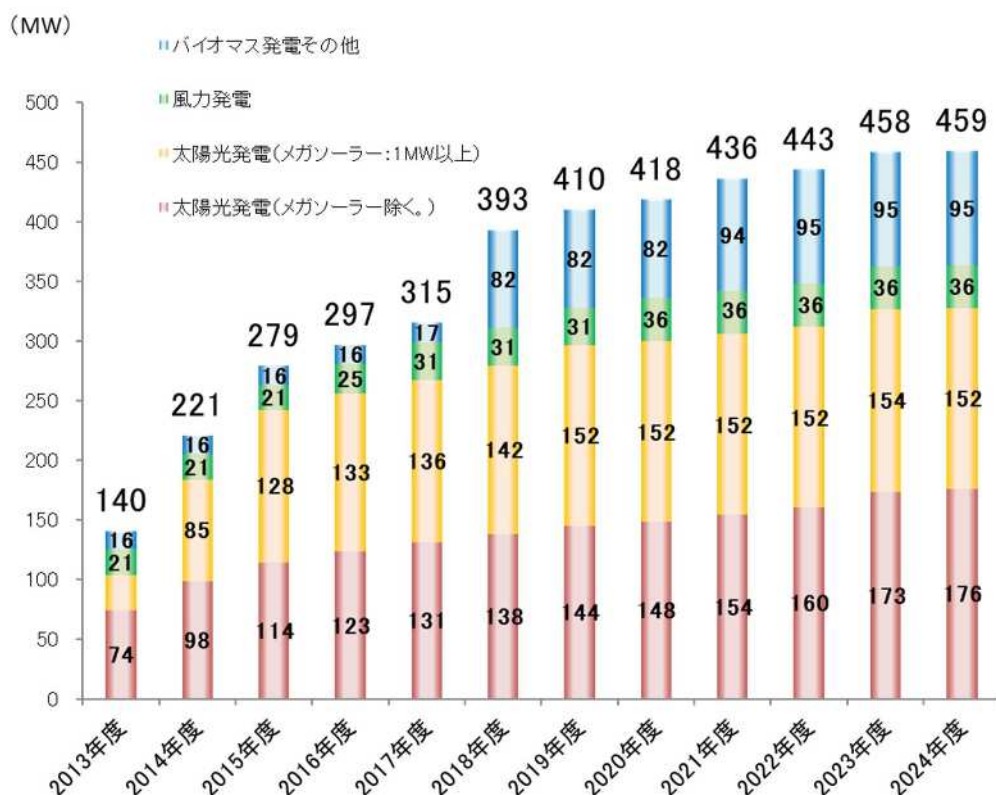
3-4 エコドライブ参加企業数



17

4 産業部門・エネルギー部門

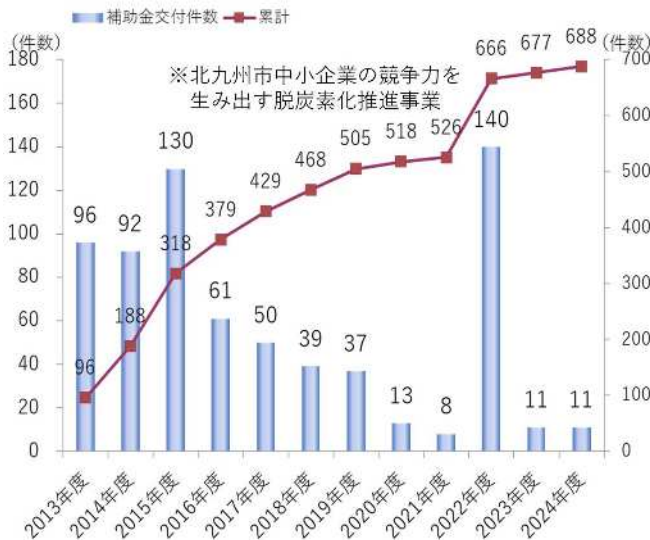
4-1 再エネ導入量



18

4 産業部門・エネルギー部門

4-2 省エネ対策の取組み事例



※2022（R4）年度は、一部、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用
（北九州市中小企業の省エネを促す緊急経済対策事業）

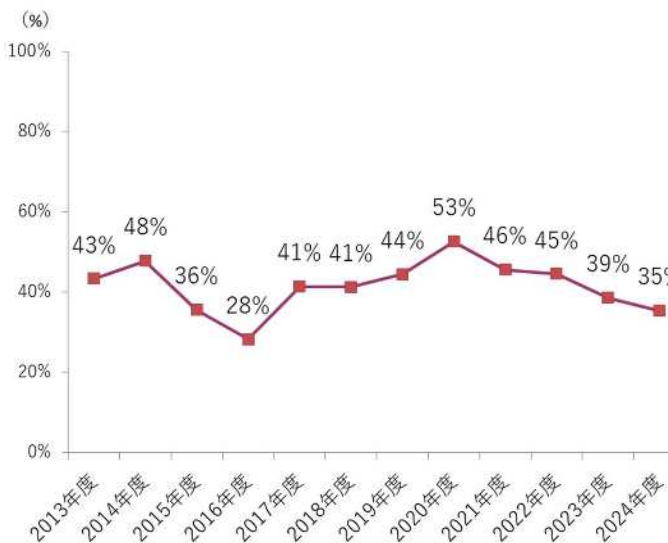
4-3 電化率（産業部門）



19

5 その他の部門（廃棄物）

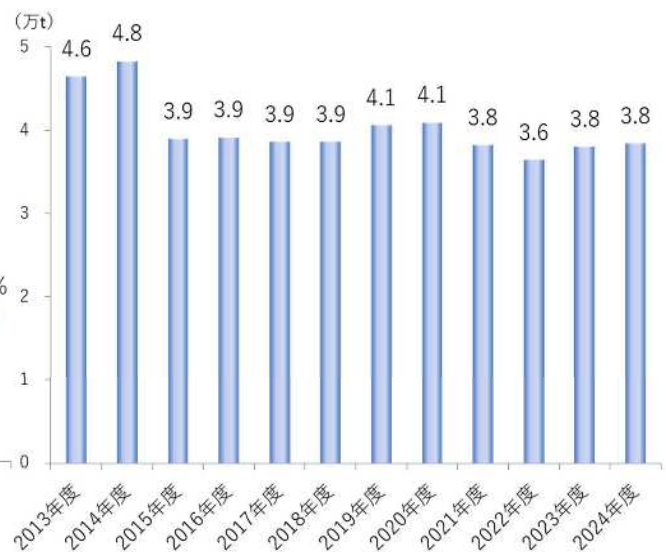
5-1 プラスチックごみ分別協力率（※）



※2023年度以降は製品プラスチックを含む

$$\text{(参考) 分別協力率} = \frac{\text{資源回収量}}{\text{資源回収量} + \text{家庭ごみ混入量}}$$

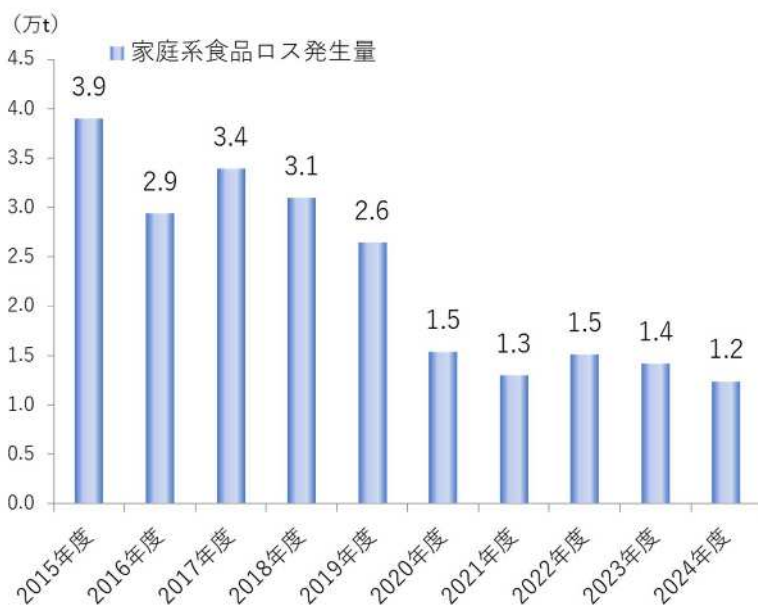
5-1 プラスチックごみ焼却量（市内焼却工場）



20

5 その他の部門（廃棄物）

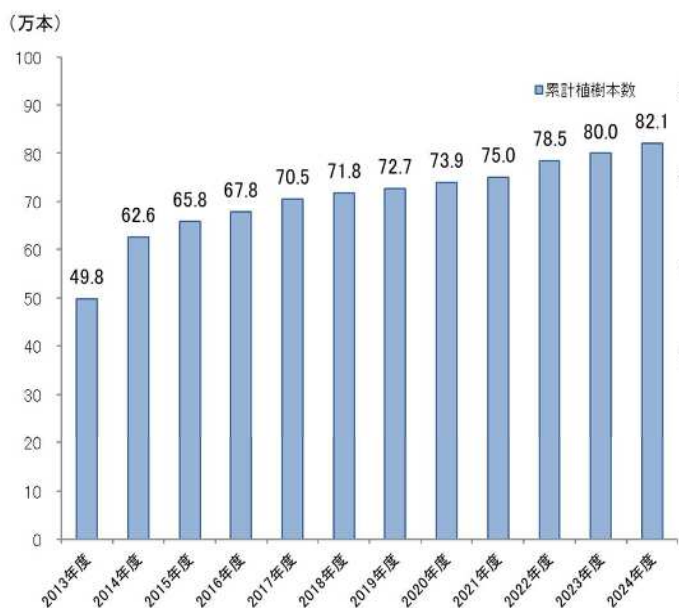
5-2 食品ロス量



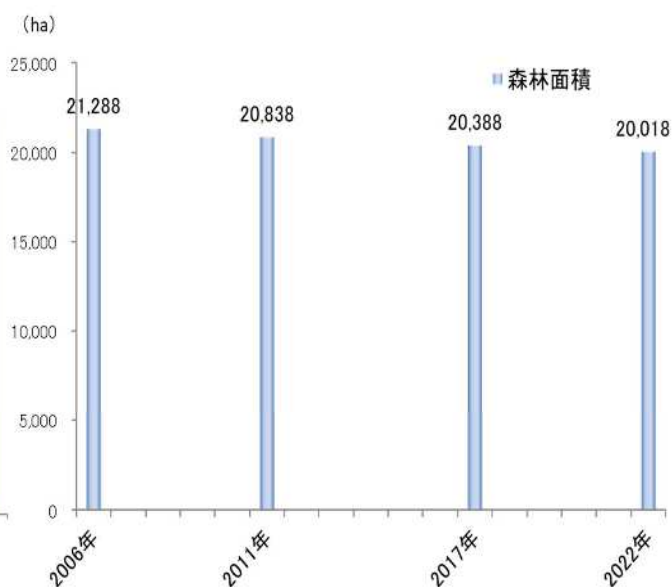
21

6 森林等による吸収

6-1 植樹本数



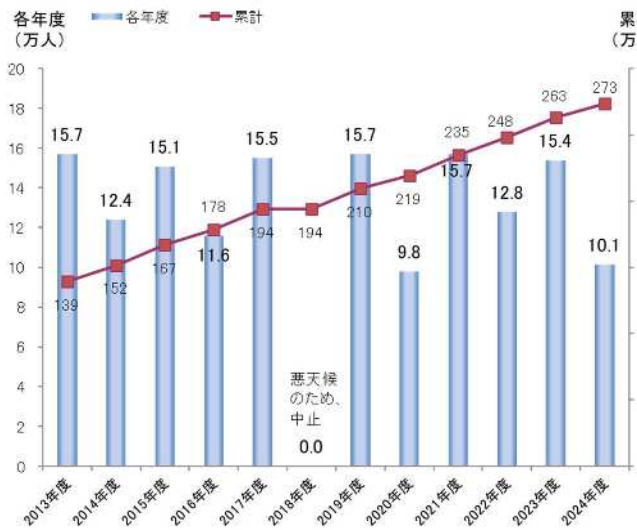
6-2 森林面積



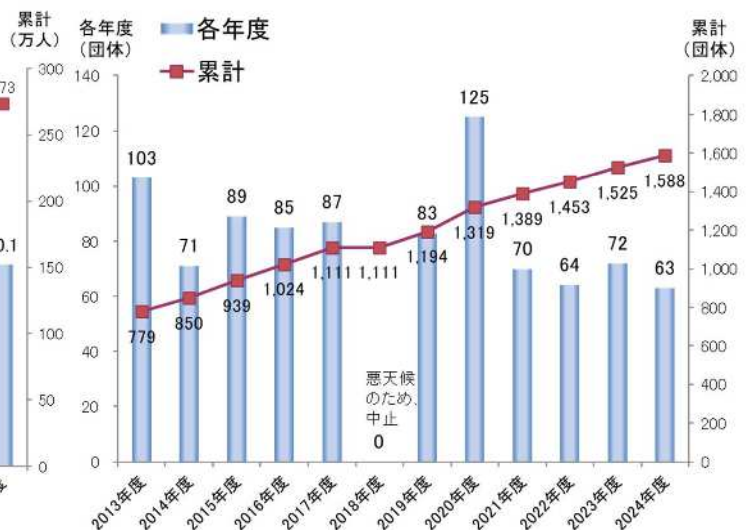
22

7 環境活動・環境教育

7-1 エコライフステージ参加者数



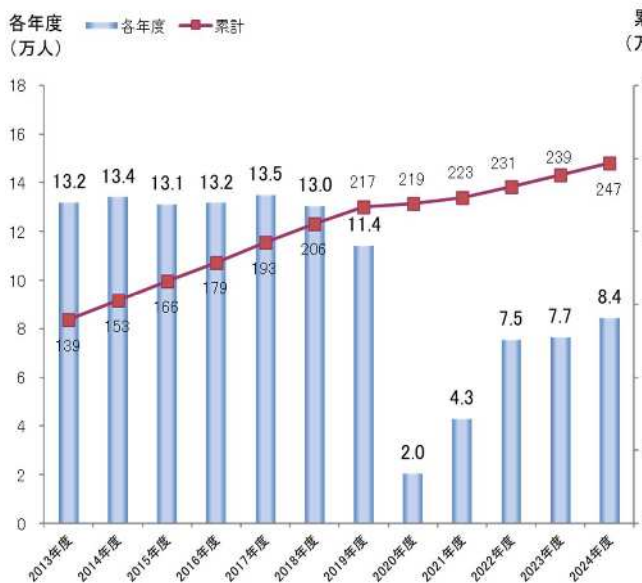
7-1 エコライフステージ出展数



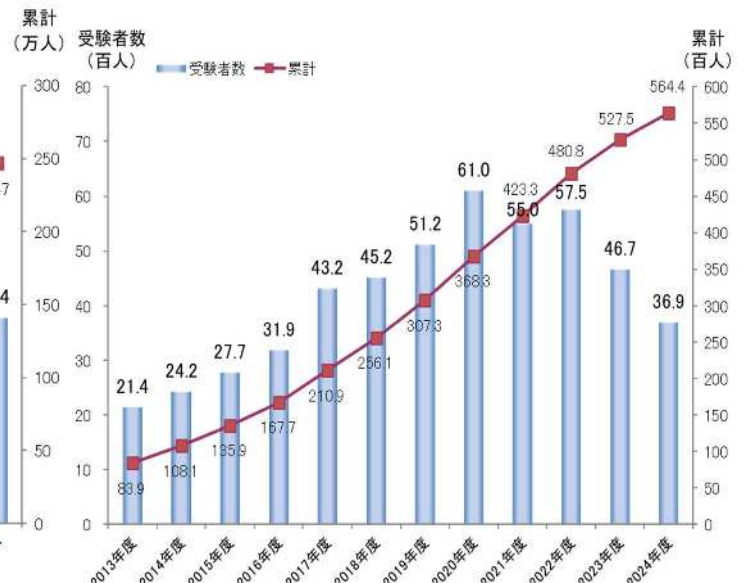
23

7 環境活動・環境教育

7-2 環境ミュージアム利用者数



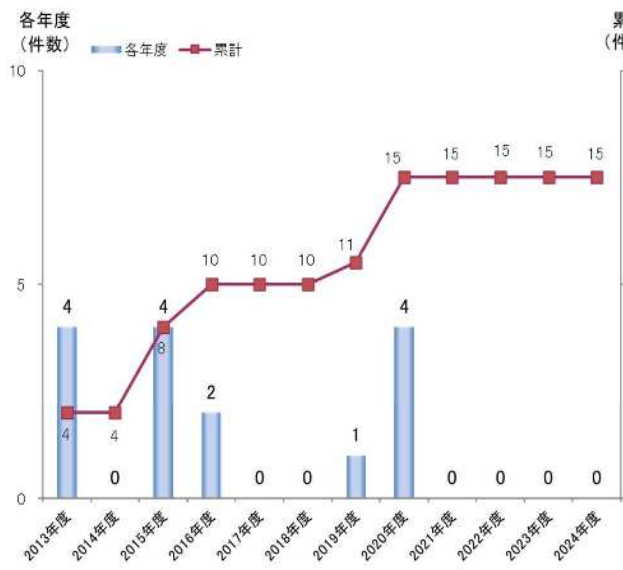
7-3 環境首都検定受検者数



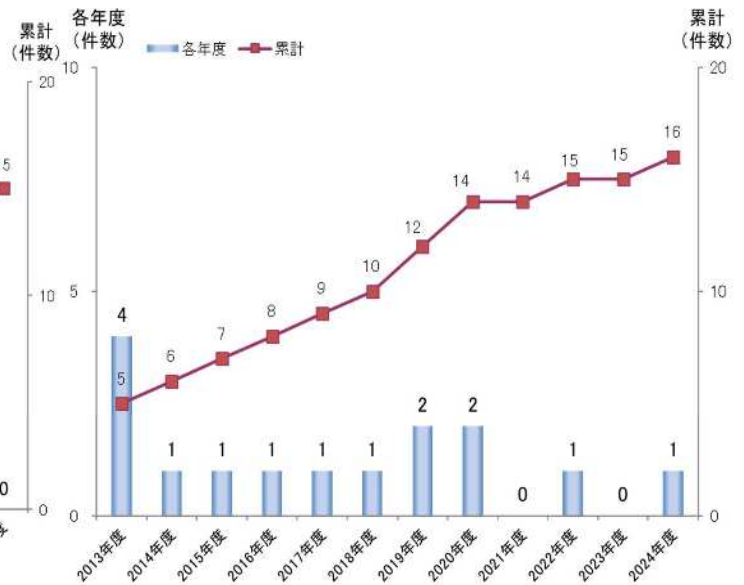
24

8 国際貢献

8-1 脱炭素化プロジェクト実施件数



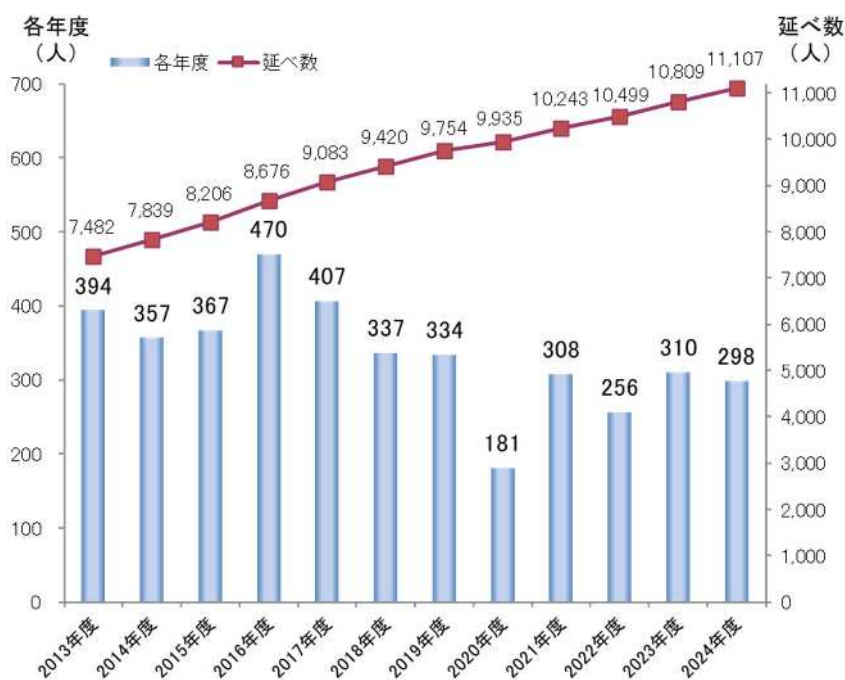
8-2 戦略的環境国際協力の実施件数



25

8 国際貢献

8-3 研修員の受入れ数



26